

<講師紹介> 高折續氏プロフィール

東京芸術大学声楽科卒業。中山梯一教授に師事。ミュンヘン音楽大学に留学、ホルム教授に師事。さらにデットモルト大学にてヴァイセンボルン教授のもとでリート演奏表現法を、クールマン教授のもとで舞台、歌唱のドイツ語発音技法を研鑽。ヨーロッパ各地でリサイタルオラトリオ、放送等に出演する。特にドイツ歌曲の表現と発音の明快な美しさは高い評価を受けた。ドイツ歌曲、オラトリオの研究、演奏を続け、特にシューベルト、バッハの演奏は高い評価を得ている。また「舞台ドイツ語発音技法」の研究を生かし、我が国における主要なドイツ語オペラ、オラトリオ、合唱曲上演に際し、約30年に及び、原語発音、歌唱指導とプロンプターとして内外多くの演奏家と共演を続けている。近年舞台ドイツ語発音技法研究の評価によりデットモルト音楽大学に客員研究員として赴任し、研究の成果を著わした。洗足学園大学教授を歴任、日本声楽アカデミー会員教授、二期会オペラ研修所講師、(財)二期会オペラ振興会評議員、東京二期会会員。著書に、「歌唱のためのドイツ語発音法」(音楽之友社)がある。